

S班、五輪代表、1着数の上位選手 強者によるV争い!!

開幕は春分の日、伊東温泉競輪で第9回ウィナーズカップGII(令和7年3月20日〜23日)が4日間の日程で開催されます。昼夜の長さがほぼ半々になるこの日、勝てる選手が全国から集結!ヒリヒリする五分五分の勝負は必見です。

備え万全の 地元深谷知広

地元のエースは深谷知広。今年初戦の松阪記念GIII決勝では郡司浩平、岩本俊介を連れて赤板から突張り先行。王者古性優作を封じる走りで行く。郡司浩平のVに貢献。地元で迎えるウイナーズカップでは、神奈川のS班 郡司浩平



S級S班 神奈99期 郡司浩平

やスピードある松井宏佑らが前で先導役を買って出る可能性もあり、番手から有利に運べるかもしれない。そこにS班の岩本俊介が加わるラインは戦力充実。全国から集結の勝てる選手を相手でも、V争いのど真ん中を突き進む。

V争いを占うなら両雄古性優



S級S班 福井94期 脇本雄太
S級S班 大阪100期 古性優作

作と脇本雄太の連係は圧倒的な存在感を放つ。古性は1月松阪記念の決勝と同じ轍を踏まないうら。脇本の総合力に対応してくるはずだ。脇本雄太は1月大宮記念から新年スタート。順当に決勝進出したが、同県の寺崎浩平の番手を佐々木真也(神奈川117期)と競り7着に。目標がいた時の走りは課題が残るものの、本業の自力勝負なら輪界トップのスピードを発揮して本大会連覇を狙う。



S級S班 栃木113期 真杉匠



S級1班 静岡96期 深谷知広

先行・捲りの迫力にココのさばきも武器とする若大将が先導。知恵袋の平原康多、大宮記念Vでロケットスタートを決めた佐々木悠葵、戦法の幅を広げている坂井洋と器用なタイプが最もそろうライン。中四国からは清水裕友。今年の初戦立川記念では本力を示せなかったが必ず立て直す。オールラウンダーの松浦悠士との連係はもろろん、若手に番手からの競走で3回目の制覇へ。



S級S班 青森107期 新山響平



S級S班 山口105期 清水裕友

北日本のS班は新山響平ひとりになったが、ルチームのバトンをつないだ中野慎詞、小原佑太との連係は強力。援護役には守澤太志、タテ・ヨコ自在な菅田孝道も連係なら道中はアシストに回り戦力は整う。勝負どころから機動パワーを発揮するなら新山のGII初制覇も見えてくる。



S級2班 岩手121期 中野慎詞



S級2班 岡山121期 太田海也

は世界選手権スクラッチで史上初の金メダル獲得の快挙達成。スタミナ戦になれば波乱演出。世界で活躍するナショナルメンバーが旋風を巻き起こすか。

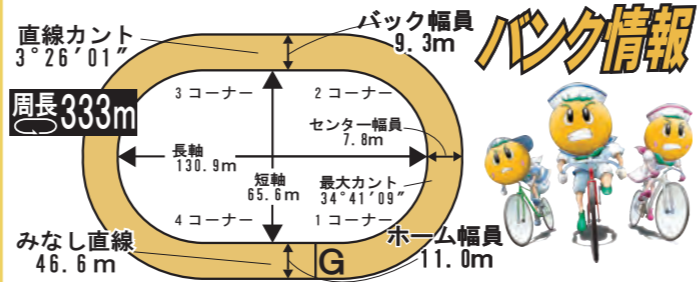
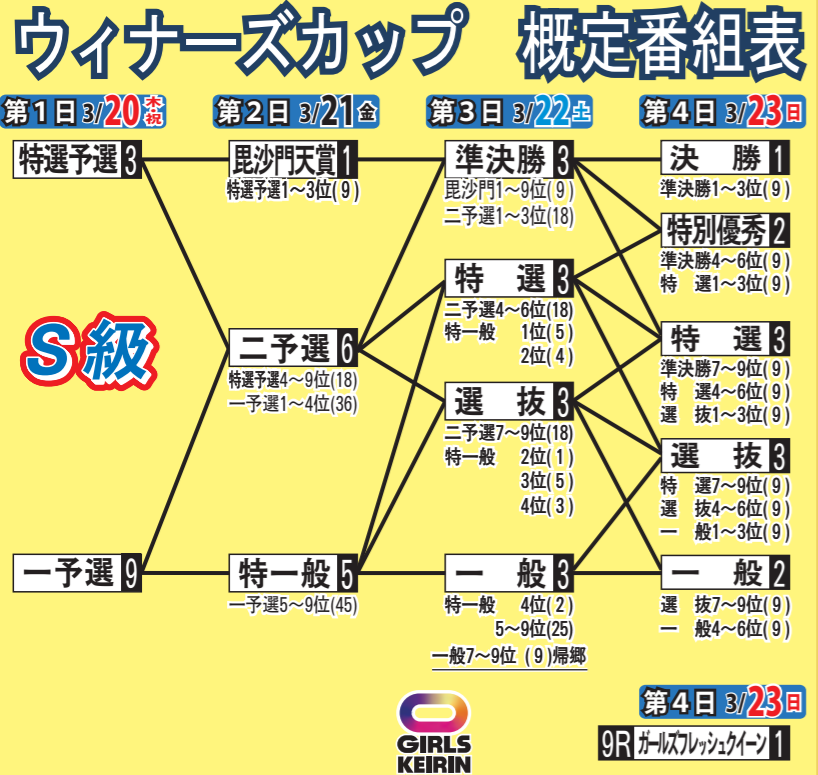
勝利数で特選シードされる選手に虎視眈々も注目。S班、ナショナルチームに匹敵するスピードを誇る犬伏湧也。先行主体に勝ち星を重ねた取島雄吾は上位陣相手でも一歩も引かない。石原颯、野口裕史も超積極的な競走で上位陣を脅かす。

GIRLS KEIRIN フレッシュライン

昨年9月平塚Vから23連勝中の仲澤春香がV争いの中心。優勝後には「自分のいい所は一発の破壊力ではなくて、小出し小出しで踏める所」と自己分析。ナショナルメンバーにも選出された今、本開催Vはもちろんガールズ連勝記録の32勝も視野にいれる。逆転の1番手には竹野百香。ポテンシャルの高さは仲澤に負けず劣らず。一撃候補にはキレ鋭いスパート力を誇る松井優佳、熊谷芽織の両名。ロングスパートもある中島瞳はチャンスに反応できれば、宇野紅音はレースセンスの良さを生かして迫る。



地区	S級1班	S級2班
北日本	山岸佳太 107期 先推	吉田有希 119期 先推
関東	三谷童生 101期 自在	坂井洋 115期 自在
中部	中井太祐 97期 自在	木暮安由 92期 追込
近畿	伊藤颯馬 115期 先推	隅田洋介 107期 追推
中国	松本秀之介 117期 自在	川津悠輝 96期 追込
四国	熊谷芽織 124期 先推	木村弘 100期 追推
九州	仲澤春香 124期 先推	中野慎詞 121期 先推



勝利数で特選シードされる選手に虎視眈々も注目。S班、ナショナルチームに匹敵するスピードを誇る犬伏湧也。先行主体に勝ち星を重ねた取島雄吾は上位陣相手でも一歩も引かない。石原颯、野口裕史も超積極的な競走で上位陣を脅かす。